

Kami Town Council News No.85

かみ議会 だより

令和8年3月定例会号

今月の表紙

春のお散歩

提供者:小林 諒多さん(小代区)

今月のトピック

令和8年度の予算決まる!

香美町議会の情報はこちら



香美町の将来像

第3次香美町総合計画

初年度予算 審査・可決！

《令和8年度 予算総額》
267億8804万円

《うち一般会計予算総額》
162億2900万円

3月5日から19日の審査日程で、議長を除く15名の議員で組織された予算特別委員会（西川 誠一委員長）が開催されました。当局は「これまでの施策を生かし、新たな一步を刻む予算」と位置付けましたが、委員会として当予算案が第3次総合計画の将来像である「みんながいさいき、笑顔あふれるまち 香美町」の実現にふさわしいか、厳しい視点で審査しました。

令和8年度一般会計予算は162億2900万円（対前年度比3・4%減）で、3町合併以降3番目の規模となりました。

財源の4割以上を占める地方交付税は68億7千万円（対前年比0・3%減）、町税収入は個人所得の増加見込みを受けた町民税増により16億5811万円（前年度比0・9%増）。

この貴重な財源を、町はどう効果的に予算配分したのか、委員会でも慎重に審査しました。

特に委員会が目にした 令和8年度、主な事業の一部

【出産・健診安心アクセス支援事業】

201万円 P5/健康課



健診、出産、不妊治療のために自宅等から最寄りの医療施設等までの通院交通費を8割助成します。

【小代物産館の新施設整備】

6364万円 P7/小代地域局



地域住民の交流及び観光を中心とした新たな交流拠点を整備します。

【交通系ICプラットフォーム整備事業補助金】 800万円

P6/企画課



利便性向上のため、路線バスや町民バスの交通系ICカード利用が可能になるよう車載器やプラットフォーム整備を行います。

【デジタル教科書導入補助事業費】

54万7千円 P6/こども教育課



小学1年生から4年生の児童に、それぞれの学校が希望する教科を1教科購入し活用するものです。
(※国の補助対象は小学5年生～中学3年生まで)

【町商工会商業活性化事業費補助金】

170万円 P5/観光商工課



町内外における商業活性化イベントの支援や特産品PRイベントの実施により、町内商工業の振興を図ります。

【消防施設整備費】

579万7千円 P4/防災安全課



昭和37年整備の20トン級の無蓋防火水槽の漏水修繕。(村岡区相田)
昭和40年度整備の40トン級の無蓋防火水槽の漏水等の修繕。(村岡区熊波)

予算審査

議長を除く15名の議員で構成された予算特別委員会で、令和8年度当初予算を審査しました。
主な質疑の内容は次の通りです。

総務課

Q 採用プラットフォーム導入の内容は。

採用プラットフォーム利用料

A 自治体職員採用に特化した採用支援プラットフォームを導入し、インターネットからの応募受付や情報発信を強化します。新卒だけでなく社会人経験者の中途採用にも対応し、若手職員が登場するプロモーション動画の制作などを通じて、採用後の働くイメージを伝える予定です。さらに、採用活動の経験を持つ担当者からオンラインで助言を受けながら、特に不足している技術職や保健師など専門職の確保を図るとともに、応募者の増加につなげていきます。令和8年4月からの本格運用を予定しています。

Q 字限図スキャン事業の内容は。 **税務課**

字限図スキャン業務委託料

A マイラーフィルムで管理している字限図をPDFデータ化し、庁舎間で共有することで、どの庁舎でも町内全域の図面が閲覧できるようにします。パソコンでの検索や印刷が可能となり、図面の抽出やコピー作業を効率化し、窓口対応の迅速化と来庁者の待ち時間短縮を図ります。なお閲覧は従来通り窓口対応とし、手数料も現行どおりとします。

防災安全課

Q 消防施設改修の進め方は。

消防施設整備費

A 消防施設の整備については、老朽化に伴う年度ごとの改修を基本としながら、漏水など消防団から寄せられる不具合の報告も踏まえて対応しています。現地を確認したうえで、緊急性が高く早急な対応が必要と判断された施設を優先して改修するよう予算を組んでいます。

町民課

Q 最終処分場廃止までの工程は。

ゴミ処理費

A 令和8年8月に焼却などの業務を終了した後、最終覆土工事などの最終整備を実施します。その後2年以上のモニタリング期間を設けて水質などの状況を確認し、問題がなければ令和13年度の廃止を予定しています。工事では雨水が処分場内部へ浸透しないよう特殊シートによるキャッピング工法や排水計画を検討し、浸出水の大幅な減少を見込んでいます。また、廃止後も一定期間は水質検査を継続し、安全性を確認していきます。

Q 第4次男女共同参画行動計画の策定プロセスは。

男女共同参画推進事業費

A 第3次男女共同参画行動計画が令和8年度で計画期間の終了を迎えるため、次期計画となる第4次男女共同参画行動計画を策定します。計画は町民課が中心となり、専門家の助言を受けながら職員が作成を進める予定で、具体的な内容や新たに盛り込む施策については今後協議しながら整理していきます。

福祉課

Q 社会福祉協議会費の減額の理由は。

社会福祉協議会費

A 介護保険事業所における経営改善努力により事業収入の改善が見込まれることで、収支赤字の補填額が減少するためです。

Q 介護保険事業の重点施策は何か。

介護保険事業特別会計

A 第10期高齢者福祉・介護保険事業計画を策定し、地域包括ケアの充実や介護予防、在宅医療・介護連携などの施策強化に取り組みます。

観光商工課

Q 従来の6次産業化や町内の特色に縛られた『ものづくり支援事業補助金』から、販路拡大のための事業ならば補助金が適用される認識で間違いはないか。

販路拡大支援事業補助金

A そのとおりです。これまで農林水産課から引き継いだ、6次産業化を目的とした補助金でしたが、今後は、より幅広い事業者を対象に、販路拡大を目的とした既存商品のパッケージ変更や商工会が開催する展示会への参加などにも活用していただきたいと考えています。

Q 平成30年から中断していた香美町商工祭り再開の理由は。

町商工会商業活性化事業費補助金

A 村岡ふる里祭り、ふるさと小代夏祭りがコロナ禍による中断を経て復活し、香美町商工祭についても町内企業から再開を望む声が上がっています。こうした状況を踏まえ、香美町商工会からの要望を受け、町として開催を支援しようとするものです。開催時期は他のイベントと重ならないよう調整されており、現時点では9月開催を予定していると聞いています。

Q 令和7年度から減額されている理由は。

国民宿舎事業企業会計 施設整備費

令和16年までの改修工事計画の優先順位の違いによるものです。令和7年度はトイレ、大浴場、客室等の改修工事を実施しました。令和8年度においては館内の空調設備改修工事を予定しております。

農林水産課

Q 水産を考える会の現状は。

町立地方卸売市場事業特別会計

A 作業部会や漁業者との検討を重ね、漁港整備(港形)の方向性は概ね整理されました。令和8年度は香住漁港西港での陸揚げ岸壁や荷さばき施設整備、作業スペースの確保や高度衛生管理体制の検討、事業実現までの段階的な整理を進める予定としています。

Q 他自治体と差別化したPR戦略はあるのか。

地域特産物販路拡大事業費

A 都市部の外食企業と連携し、香美町産食材を使用したメニューを一定期間提供する食材フェアを開催します。プロの料理人によるメニューとして提供することで、食材の魅力を高めた形で都市部の消費者に直接体感してもらい、メニュー名や食材名に地名を冠することで香美町の知名度向上を図ります。また、ターゲットとして飲食店のシェフやバイヤーなど事業者にもアプローチし、視察などを通じて町内の生産者や食材に触れてもらうことで、フェアをきっかけとした新たな取引や販路拡大につなげることを目指します。

健康課

Q 子ども・子育て支援金の目的は。

子ども・子育て支援金

A 政府の策定した、こども未来戦略「加速化プラン」に基づく少子化対策の財源として、医療保険制度の仕組みを活用し全世代で子育て世代を支える制度です。将来の担い手確保により社会保障制度を支えることにもつながります。

Q 対象者40人/年の根拠は。

出産・健診安心アクセス支援事業扶助費

A 直近の出生数がおおむね年間40人程度で推移していることや、現在の母子健康手帳の交付状況などをもとに、出産や妊産婦健診、不妊治療などで医療機関を受診する妊産婦の人数を推計し、当初予算では対象者を年間40人程度と見込んだものです。

Q 後期高齢者医療保険事業の重点施策は何か。

後期高齢者医療保険事業特別会計

A 検診受診率向上のため令和8年度から受診勧奨を実施します。現在約23%にとどまる受診率を30%以上に引き上げることを目標に、未受診者への受診勧奨を強化し、健康増進と保険事業の充実につなげます。また制度説明を丁寧に行い、保険料収納率の向上にも取り組みます。

企画課

Q バスへのICカード決済導入の目的は。

交通系ICプラットフォーム整備事業補助金

A ICOCAなど全国相互利用が可能な交通系ICカードでバス運賃を支払える仕組みを整備します。バス車両への機器導入と共通サーバーを整備し、鉄道との乗り継ぎを含めた移動の利便性向上を図ります。また、通学定期券の購入手続きの簡素化や観光客の利用促進にもつなげます。

Q 協力隊の活動内容は。

地域おこし協力隊活動事業費

A 移住定住、高校支援、地域づくり、観光振興の4分野で地域おこし協力隊を募集します。移住相談や空き家バンク運営、地域イベント支援など現場重視の活動を行い、隊員の意欲と町の課題のマッチングを重視して地域活性化につなげます。

こども教育課

Q デジタル教科書の詳細説明を。

学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書導入事業費

A 国の実証事業の対象外である小学1年生から4年生の児童に、各学校が希望する1教科のデジタル教科書を購入手続き済みです。小学校入学時からデジタル教科書を導入することで、視覚的にも分かりやすく効率よく学習を進め、学習内容の理解を深めるとともに、学ぶ楽しさを感じられるよう学びの充実を図ります。

上下水道課

Q 水質検査手数料増額の内容は。

水道事業企業会計 原水及び浄水費

A 令和8年度から、有機フッ素化合物は水質管理目標設定項目から水質基準項目へ格上げされ、検査は3か月に1回を基準に実施することとされています。これに伴い、水質基準項目の対象となるPFOS、PFOAについて、新たに年4回の検査が義務付けられたため、増額を見込んでいます。

Q 地元高校の存続を支えるため、下宿費補助金は村岡高校に限らず、香住高校も対象とすべきではないか。

高等学校生徒下宿費補助金

A 現段階では、学校の存続については学校側で考えていただくのが最善と考えており、下宿費補助によって存続を図っていくことは、教育総務課としては考えていません。

教育総務課

Q 町じゅう図書館の取り組みは評価するが、図書館を整備すべきではないか。

図書事業費

A 図書館の必要性については、担当課としてもその重要性を十分認識しています。建設に向けては前向きな考えを持っていますが、現在は司書職員が着任して間もないこともあり、さまざまな情報収集や分析を進めている段階です。今後は、学校統廃合に伴う空き公共施設の利活用も含め、前向きに検討してまいります。

Q 上計スポーツパークのトイレ修繕工事について、周辺に複数のトイレがある中で、修繕を行う必要性は。

体育施設整備事業費

A グラウンド利用時に近隣施設のトイレを利用することは使い勝手の面で難しいことから、区からの要望も踏まえ、既存トイレを修繕し、利用者の利便性向上を図る必要があると考えています。また、トイレの整備によりスポーツ利用の促進につながり、健康増進や医療費削減にも寄与するものと考えています。

生涯学習課

財政課

Q 病院支援の内容は。

公立八鹿病院組合負担金事業費

A 公立八鹿病院の経営を支えるため、香美町は無利子貸付による財政支援を行います。令和8年度に10億円、9年度に4億円を貸し付け、原則7年満期の一括償還とする計画です。返済が困難な場合は5年満期での借り換えも可能としています。経営改善策は令和7～9年度の3年間で検討されます。

Q 暫定税率廃止による財政への影響は。

地方揮発油譲与税

A ガソリンの暫定税率廃止により地方揮発油譲与税は約15%減少し、町では年間約400万円程度の減収を見込んでいます。ただし、この減収分については国の地方特例交付金により全額補填される見込みであり、現時点では町の財政への大きな影響は生じないと考えています。

公立香住病院事業企業会計

Q 病院の診療体制は。 人件費

A 令和8年度の診療体制については、令和7年度末で総合診療科の常勤医師3人のうち2人が退職されます。新たに県養成医師2人と総合診療専門研修医1人を受け入れるため、1人増の4人体制となる予定です。なお、他の医師に変更はありません。

Q 除却支援の計画件数について、令和7年度実績13件に対し、計画件数を7件とした理由は。

老朽危険空家除却支援事業補助金

A 今後は相続などにより解決が難しい事例が増えることも想定されるため、令和8年度の計画件数は国県補助分2件、町単独分5件の計7件としています。なお、新たな相談があれば、随時対応していきます。

建設課

村岡地域局

Q ハチ北温泉給湯設備改修の理由は。

観光開発整備事業費

A ハチ北温泉湯治の郷の給湯設備は、整備後約20年が経過しており、計画的に施設の更新を行っています。改修工事の内容は、給湯用ボイラー1基と貯湯タンク1基の更新です。

小代地域局

Q 地域活性センターの目的が多岐にわたる中で、具体的な運営方法の策定期間は。

地域活性センター費

A 5月に町長とのヒアリングを予定しており、それまでに運営方法を取りまとめたと考えています。

総括質疑

各課への詳細な質疑で把握した課題を踏まえ、最後に町長や教育長へ予算編成の狙いや施策の方向性を直接問う、予算審査を締めくくる総括的な質疑です。

Q 交付について、新規事業者においては一定期間の経営状況を見守るとの考えは、要綱がなく、認められないが。

タクシー運行継続支援事業助成金

A **町長** 新規事業者への助成についても対象外とするものではありませんが、事業開始時には一定の採算性が見込まれていると考えられます。そのため短期間の実績では判断が難しく、法人全体の収支も踏まえたうえで、一定期間の経営状況を見極めて対応していきたいと考えています。

Q 新規募集を行う地域おこし協力隊の業務について、具体的な目標設定は定めていないとの答弁が担当課からあったが、町長の見解は。

地域おこし協力隊の目標設定について

A **町長** 採用するにあたって、隊員としてやりたいこと、隊員ができること、受入団体や地域が求める内容とマッチすることが重要であると考えています。そのため、採用時の面接や話し合いを通じて目標を設定するとともに、活動内容についても随時確認、修正しながら事業を推進していくこととしています。

討論

Q 最終処分場における水質検査で管理基準を上回る浮遊物質が発生した原因について、除雪作業による過処理の遅れとされているが、職員一人体制が問題ではないか。

ごみ処理費

A **町長** 今回の事案は、想定外の大雪により除雪作業に時間を要したことが原因と考えています。今後は、気象状況の悪化が予想される場合には、施設職員との連携を強化し対応していきます。また、令和8年8月末には焼却灰等の受入れが終了するため、同様の事態が生じた場合でも、現行体制で適正な管理が可能と考えています。

◆令和8年度
一般会計予算

反対討論

谷口 眞治 議員

町民の暮らしを支える予算が求められており、以下の7点から反対する。

- ① 町単独の商品券配布事業の制度化と、消費税減税、インボイス廃止を求め。
- ② 3歳未満児の保育料無料化、制服等の義務教育費無償化を求め。
- ③ 防災センターのソフト面の充実とともに、災害見舞金の増額や、人的過失による火災も見舞金対象に加えるべき。
- ④ タクシー設置の格差を是正し、特定1社限定の運行支援は見直すべき。予約制バスの予約時間の短縮や土日運行は課題。
- ⑤ 農地は規模拡大一本では守れない。小規模農家への支援にも目を向けるべき。

- ⑥ 標準準拠システムは自治体の負担増となる。
- ⑦ 最終処分場処理水の改善、町民負担ありきの公民館講座など、これまで指摘してきた課題が解決されていない。

賛成討論

藤井 昌彦 議員

人口減少で厳しい財政状況の中、知恵を絞り、重点的に資金を集中させて住民サービスを充実させつつ、堅実な財政を目指す予算である。

町民の命と将来的な健康福祉を第一に考え、子育て・教育関連の多岐にわたる支援も評価する。文化財・産業関連でも、各地域の特性に応じた施策が盛り込まれている。令和8年度末に財政調整基金・減債基金で計33億円超の積立を予定しており、次世代にツケを残さないという強い意志が感じられる。

賛成多数で可決

◆国民健康保険事業
特別会計予算

反対討論

山本 賢司 議員

医療費分が減額となる一方で、税の目的外使用である子ども・子育て支援納付金分により増税となる。物価高に年金が追いつかない中で増税は生活苦を増大させる。町長も負担増の影響を認めながらの増税は容認できない。

子ども・子育て支援納付金のような社会全体で支えるべき施策には、医療保険料ではなく、国税を充てるべき。暮らしを圧迫する増税であること、税の目的外使用であることを指摘し、反対とする。

賛成多数で可決

◆後期高齢者医療保険
事業特別会計予算

反対討論

谷口 眞治 議員

物価高騰に年金が追いつかない中で負担増は、高齢者の「命の綱」を脅かす。年金が4年連続で実質マイナス改定となる中で保険料引き上げは、高齢者の生活を困窮させる。

子ども・子育て支援金の保険料への上乗せは、趣旨から外れた筋違いの制度である。子育て支援を強化するならば、保険料ではなく、国庫負担で対応すべきである。年齢で医療を差別する現在の後期高齢者医療制度そのものを廃止し、かつての無料化のように、高齢者が安心して受診できる制度を求める。

賛成多数で可決

◆水道事業企業会計予算

反対討論

山本 賢司 議員

令和9年度から予定されている値上げ準備は、全住民の生活を苦しめるものであるとして、以下の理由から反対する。

経営戦略で今後5年ごとの料金改定が計画されている。人口が減少する中で料金引き上げは、住民にずっと続く生活苦を強いるだけではないか。

基準外の一般財源の繰入を行わない経営戦略は破綻する。住民の暮らしも破綻する。来年に向けて料金改定の経営戦略は認められない。

賛成多数で可決



専決処分

町民生活直結

衆議院選挙関連費、
除雪費2件承認!!

衆議院選挙に係る費用と大雪による除雪費が専決処分され、2件とも全員賛成で承認しました。

◆衆議院選挙に係る費用について(補正予算第7号)

質疑

問 ①選挙ポスター掲示板の数の減少による予算はどうなるのか。

②掲示板の番号が無かったが。

③掲示板の無かった集落もあつたが。

答

①予算より減額します。
②③確認し、今後は対応します。

◆大雪による除雪費の増加(補正予算第8号)

専決処分とは、

予算執行の過程において補正をする必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がないので専決処分するもの。



大雪の現状



公営掲示板

計画策定

3月定例会において提案された議案は、全て原案通り可決しました。

公共工事を有利な起債で3件可決!!

辺地総合整備計画(奥佐津、相谷、新屋辺地)の3件はいずれも全員賛成で可決しました。

◆奥佐津辺地

辺地対策事業債

360万円

畑浄水場の入水濁度計の耐用年数経過

三川水系

辺地対策事業債

80万円

三川配水池の排水流量計の耐用年数経過

質疑

問 ①中心地が畑から土生に変更している。中心地の位置とは。

②学校統廃合で点数が何点変わるのか

答 企画課 ①宅地地価の一番高い位置になり

ます。畑より土生のほうが地価が上昇しました。
②奥佐津小の統合により48点高くなります。

◆相谷

飲用水供給施設

(旧相谷簡易水道事業)

辺地対策事業債

360万円

浄水濁度計の耐用年数経過

下水処理施設

(相谷浄化センター整備事業)

辺地対策事業債

440万円

流量調整ポンプ、脱臭ファンの耐用年数経過

質疑

問 下水道処理施設が事業費の100%が辺地対策事業債になるのか

答 企画課 コミュニティプラント事業は公営企業会計でなく一般会計で処理されるので全額使えます。

◆新屋

小代南部高原専用水道事業
辺地対策事業債

1億2050万円

クリプト対策

問 昨年の夏の渇水のため予備費で水を供給した経緯があり、原水を安定確保できるのか。

答 企画課 安全な水を供給するため、クリプトスポリジウム対策をするもので原水の安定確保を図るものではありません。



畑浄水場



相谷浄水場

辺地とは、

交通条件や自然的、経済的、文化的条件に恵まれず、他地域に比べて住民の生活水準が著しく低い中山間地や離島を示す。

政令で定める要件として、地域の中心を含む5平方km以内の人口が50人以上、辺地度点数(駅、学校、医療機関までの距離に基づく点数)が100点以上が条件である。

辺地対策事業債とは、

充当率100%で元利償還金の80%に相当とする額が、普通交付税の算定に用いる基準財政需要額へ算入されます。

補正予算
3月定例会において提案された議案は、全て原案通り可決しました。

指定管理
3月定例会において提案された議案は、全て原案通り可決しました。

人事同意案件
人事案件19件は無記名投票により採決し、以下のとおり決定しました。

- ◆ 一般会計補正予算 (第9号)
- ◆ 国民健康保険事業 特別会計補正予算 (第4号)
- ◆ 後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算 (第2号)
- ◆ 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆ 公立香住病院事業企業会計補正予算(第3号)
- ◆ 水道事業企業会計補正予算(第4号)
- ◆ 下水道事業企業会計補正予算(第3号)



一日市公民館

質疑
問 公民館の指定管理の期間は5年間で、区と区長の記載があるが区長が変わるたびに議会の議決を要するののか。
答 **総務課** 指定管理は区との契約であり区長が交代するたびに議案として提案しておりません。
全員賛成で可決



香住自治区公民館

質疑
◆ 一日市区 指定管理者
◆ 香住自治区公民館 指定管理者
◆ 香住自治区 指定管理者
全員賛成で可決

質疑
◆ 森会館 指定管理者
◆ 下浜区公民館 指定管理者
◆ 下浜区 指定管理者
全員賛成で可決

質疑
◆ 入江公園 指定管理者
◆ 入江区 指定管理者
◆ 新屋農村公園 指定管理者
◆ 新屋区 指定管理者
全員賛成で可決

指定管理制度とは
香美町の施設の管理運営を民間事業者等に行わせ、住民サービス向上と経費節減を図る制度です。

固定資産評価審査委員会委員

◆任期は令和8年5月30日から3年間です。



中村 悟さん
(香住区守柄)



松岡 克己さん
(村岡区大糠)



中村 修さん
(小代区佐坊)

質疑
問 会計任用職員は町の役職を兼ねてもよいのか。
答 正職員でなければ可能です。

人権擁護委員

- ◆法務大臣に推薦することに同意しました
- ◆任期は令和8年7月1日から4年間です。



沼田 朋子さん
(香住区訓谷)

教育委員会委員

- ◆任期は令和8年5月31日から4年間です。



上田 美登里さん
(小代区佐坊)

農業委員会委員

(議席順)

- ◆任期は令和8年4月21日から3年間です。



吉川 正人さん
(香住区下浜)



文堂 福一さん
(村岡区高井)



米田 和弘さん
(香住区隼人)



岡田 久志さん
(村岡区板仕野)



川本 博文さん
(香住区余部)



田中 憲二さん
(小代区神水)



井上 竹雄さん
(小代区鍛冶屋)



岡田 久仁子さん
(香住区矢田)



北村 宏明さん
(香住区丹生地)



中村 実夫さん
(村岡区宿)



伊井 仁さん
(村岡区長板)



小西 敏さん
(村岡区山田)



西崎 武志さん
(村岡区和池)



小谷 直美さん
(香住区中野)

条例改正

3月定例会において提案された議案は、
全て原案通り可決しました。

◆香美町集会所条例の一部を改正する条例

香住自治区公民館、森会館新築により条例に加える。

全員賛成で可決

◆香美町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員の損害賠償の基準額を改正する。



反対討論

見塚 修議員

損害補償の金額を階級と勤務年数で区分し、差が生じている。

人の命を階級と勤務年数で差をつけることには反対する。

賛成多数で可決

◆香美町火入れに関する条例の一部を改正する条例

例

強風注意報、若しくは乾燥注意報が発表されたとき又は火災警報若しくは林野火災に関する注意報が発令された場合には、火入れを行ってはならない。

質疑

問 美方郡広域事務組合

火災予防条例が改正され注意報が発令時は火入れを行ってはならないとある。美方郡広域事務組合の条例は郡全域に及ぶが香美町の条例を改正する必要はあるのか。

答 農林水産課

香美町の条例も改正が必要、野焼きをするのに火入れの届け出が必要であり、その中に火入れの中止の条件が定義されている。

今回の改正で林野火災に関する注意報が発令時には火入れを中止すると

いう定義を加えます。

問 乾燥注意報、林野火災に関する注意報はどこが発令するのか。

答 農林水産課

乾燥注意報は気象庁、林野火災に関する注意報は美方郡広域消防本部が発令します。

全員賛成で可決

◆香美町営住宅条例の一部を改正する条例

香住区境住宅を廃止、条例から除く。

全員賛成で可決

◆香美町水道事業給水条例等の一部を改正する条例

災害その他非常の場合において、町長が必要と認めるとき他の市町村長の指定を受けた業者が工事を実施することが可能とする。

例

全員賛成で可決

◆香美町立学校施設使用条例の一部を改正する条例

例

社会体育等を目的として学校体育館の空調設備を使用するときの使用料を定める。

(1時間につき

町内者 10000円、

町外者 15000円)

全員賛成で可決

◆香美町御殿山公園条例の一部を改正する条例

御殿山公園を整備するための野外ステージなどの施設を撤去する。

質疑

問 この公園をだれが管理しているのか、どう管理、維持していくのか。

答 村岡地域局

もちろん町職員が管理しています。特定地域づくり事業協同組合がトイレなども含めて掃除しています。

また令和3年に結成された村岡区の区長を中心としたボランティアの団体も

活動されており管理できています。

全員賛成で可決

◆香美町澗川平ガーデン「但馬高原植物園」条例の一部を改正する条例

平成7年に整備した種育苗施設を廃止する。

質疑

問 全国植樹祭の関連で

整備している種育苗成の考えとして、地域の植生をいかす発想はなくなり苗の育て方が変わったのか。

答 村岡地域局

種育苗成施設、以前は種苗を育成していたが最近苗木の保管のみで苗を育てるのは植物園内で育てており地域の植生をいかすことには変わりありません。

問 施設の役割は植生を守るための種育苗成であったが購入の種苗を植栽しておれば澗川平の生態系の破壊につながるのか。

答 村岡地域局

購入したものはわずかで販売用

に用いております。植物園での苗木は育っており生態系の破損にはつながらないと考えています。

全員賛成で可決

債権放棄

債権を放棄する議案2件

水道料金

5262円を放棄

水道料金

446円を放棄

全員賛成で可決

債権放棄とは、

相手方の倒産や解散等により回収不能となった債権について、議会の議決を経てその権利を消滅させる手続きです。

追加議案

3月定例会において提案された議案は、全て原案通り可決しました。

◆一般会計補正予算 (第10号)

大雪のため除雪委託料
7800万円を追加

全員賛成で可決

◆国民健康保険事業

特別会計補正予算

(第5号)

高額療養費を追加

全員賛成で可決

◆水道事業企業会計

補正予算

(第5号)

配水管等移設工事負担金の戻し800万円の補正

全員賛成で可決

議案の審議結果 ※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	村田 行信	山根 典明	中村 崇志	脇坂 英作	山本 賢司	谷口 眞治	森浦 繁	田野 公大	伊藤 敦紀	見塚 修	西谷 尚	松岡 大悟	東垣 典雄	藤井 昌彦	西川 誠一	吉川 康治	
13	令和8年度香美町一般会計予算					×	×	×										-
14	令和8年度香美町国民健康保険事業特別会計予算					×	×	×										-
15	令和8年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計予算					×	×	×										-
20	令和8年度香美町水道事業企業会計予算					×	×	×										-
45	香美町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めることについて										×							-

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わらないため「-」で表示しています。

議員発議、特別委員会発足

議会改革を
推進!

「議会及び議員の体制整備調査特別委員会」を発足しました。
この委員会は議長を除く全議員で構成し、調査研究を行います。

主な調査事項

1. 議員報酬及び議員定数に関する事項
2. 災害時におけるリスクハッジ及び時代の変化を踏まえたDXの利活用に関する事項
3. その他、議会及び議員の体制整備に必要な事項

委員長 西川誠一 副委員長 伊藤敦紀

設置の趣旨

昨年の改選により新たな議会構成となり、一定の世代交代が進みました。
新たな視点や活力が加わる一方で、これまで培われてきた経験や議会運営の知見を継承し、町民の負託を受けた意思決定機関として、その機能を十分発揮できる体制を整えておくことが重要であると考え、調査研究を行います。

一 般 質 問

町政を問う！

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。
議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。
内容については、議員本人が執筆（要約）したものを掲載しています。
（※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます。）



リモコン式草刈機で草刈り



ひがしがきのりお
東垣 典雄 議員

担い手不足や農業者の高齢化から農地の集約とともに、農作業の効率化が必要となります。そのためのスマート農

農業の効率化はスマート農業で補助制度活用で促進を図ります

業への取り組み、ドローンとリモコン式草刈機について伺う。

現状と多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度の交付金を活用した取り組み、今後の取り組みの促進を伺う。

町長 肥料や農業の散布をドローンで行っている農家の数は把握して



ておりませんが、JAでも農会を通じてラジコンヘリコプターやドローンを使った防除を受け付けており令和7年度ドローンによる防除が香住区7地区、村岡区1地区の利用があったようです。

畦畔の草刈りの現状ですが各農家の作業時間の把握はしていません。

町の補助事業、農業近代化施設整備事業で令和3年度から8台の草刈機の補助を行っています。

今後も農作業の効率化は必要であり中山間地域等直接支払制度のスマート農業加算、国県の支援事業も含めスマート農業の促進を図ります。



現地立会い確認不要！！



いつもしっかり管理を！！

最新技術、ドローン、航空写真、IT技術等を活用するよう関係者に依頼し、何十年かかる地籍調査事業を前倒する考



ふじい まさひこ 議員
藤井 昌彦 議員

えはないか。
町長 本町の地籍調査事業の進捗率は令和8年3月末時点での見込みで19・6%です。各区の進捗率は、香住区で3・4%、村岡区で14・5%、小代区では68・7%です。県では、令和3年度に航空レーザー測量を行っており、その成果も活用可

能となっていますので、新たにドローンなどで測量を行う必要はありません。そのため、山林部の地籍調査は、土地所有者の安全確保と負担軽減の観点から、航空則法を活用した地籍調査、県におけるスマート地籍調査が推進されています。この調査方法は、現地による

1回の筆界杭の設置を行わず、筆界案を公民館などで確認します。事業費は従来と比較して若干安価になり、事業期間の短縮も見込めますので、この調査手法の導入を検討しています。

地籍調査に最新技術を！！ 新しい技術方法を検討します



火事による惨事を最小限にとどめるためには、初期消火のための消火器とともに、消火栓設備の重要性は言うまでもあ



みづか おさむ 議員
見塚 修 議員

りません。
平常時の消火栓管理は①消火栓の器具箱及び器具の管理
②消火栓本体の管理、作動点検、除雪等
でありますが、消防団と自主防災会との管理点検の分担の仕分けはどのよう

に指導されていますか。
町長 消火栓器具箱及び器具の管理、消火栓
てはどうか伺う。
また、消火栓は一般的に65mmのホースと筒先が使用されているが、初期消火の際は高齢者や女性

が操作する場合もある。水圧の関係から連結金具等の使用で、小口径対応の考えはないか。
また、65mm対応の件は、費用面等から難しく、現在配備の資機材の活用を

消火栓管理は消防団、自主防災会 消防団で実施します





地域ブランディングによって経済V字回復した熱海市



兎塚地区のはなれサルに注意せよ

議会初日の所信表明で「これまでの政策を活かし、新たな一歩を刻む」ことを目標とし、各施策に取り組むとあった。



その中で「シティプロモーションの推進」施策としては、観光施設の整備を進めるとあるが、そもそも行政によるシティプロモーションをどう捉えているのか。

町長 本町におけるシティプロモーションは、単に観光やイベントをPRする広報活動にと

どまらず、地域の価値を磨き上げ内外へ伝えることとで交流人口関係人口の拡大、移住定住の促進、地域経済の活性化、そして町民の誇りや郷土愛の醸成に繋げていくため庁内横断で施策を連動させながら民間事業者・関係団体・町民のみならず協働の輪を広げていきま

す。
町民のみなさんが町の良さを再確認し、誇りを持つ状態をつくること、結果として移住促進や人材確保に繋がると考えています。

行政によるシティプロモーションとは
地域の価値を磨き上げ内外へ伝えることです



村岡区においてサルの出没エリア拡大と個体数増加の懸念がある。SNS等の情報からも近年は、はなれサルの目撃



数や頭数が増えている実感がある。対策としては、従来の被害防止策を継続する中で、住民協力や自衛意識も重要と考える。一方で、現行の追い払い中心の対策では根本的解決にならない。小代・村岡を含め監視員2名（実働1名）による対応体制の限界も課題として挙げ

られる。放置柿など餌資源の存在が出没の要因とされるが、その対策効果の検証は十分でない。短期集中的に人金をつぎ込んで徹底的な取り組みが必要である。

町長 村岡区については、「美方B群」1群約12頭で構成され、大きな個体数の変動はないとの

認識です。一方で、行動範囲は村岡区内で広がり、出没頻度も増加傾向にあると把握しています。対策は、電気柵や小代用心棒の設置、追い払い活動を継続し、補助金による支援も実施しています。現在の監視員2名体制については、2名で問題ありません。

サルが増えていないか
個体数の変動はない





奥山に財産がある、と考えていた

		契約件数(件)	契約面積(ha)	造林面積(ha)
分収造林	香住区	8	233	198
	村岡区	25	809	703
	小代区	16	627	523
	計	49	1669	1425



海と暮らす、香住



文化香る町、村岡



美しい里山、小代

WONDER KAMI より抜粋

再生しようと始められた山を国、県の施策で負って県農林機構が破綻した。戦後、荒れ果てた山を国、県の施策で再生しようと始められた



やまもと けんし 山本 賢司 議員

村の財産、分収造林はどうなる
有益契約地分は全額契約者に

分収造林事業。村では炭焼きで、戦後の燃料を供給してきた山を、子孫の財産として残そう、50年後にと分収造林に協力してきた。その後、長伐期化として80年、分収率も2割下げて契約変更した。破綻した、解約です、とされ、事業は継続す

るとも言われるが、村人は理解できていないのだからどうする。
町長 昨年、6月28日に県主催で所有者説明会が49地区を対象に開かれました。県は、①収益が見込める契約地は林業事業体により計画、国庫補助金等で間伐・主伐し、事業収益の全額が所

有者に還元される。②収益が見込めない契約地は公的管理に移行するとしており、実務は(仮称)県森づくり支援センターが行うとしています。県には、700億円は県民の金、そもそも、木材輸入自由化が問題、町に負担がないようにと申しました。



本町の魅力発信とブランド戦略について問う。人口減少社会の中で、町はどの分野でも選ばれる努力をしなければなら



なかむら たかし 中村 崇志 議員

香美町、一番の強みは何
旧3町の特色ある魅力

ない。しかし、本町の魅力は十分に伝わり選ばれる町になっているだろうか。また、デジタル化が当たり前となり、情報戦の時代である。町長は明確なブランドコンセプトを持ち、本町が選ばれる町になれているか何う。

町長 本町、一番の魅力は、広大な地域と香住・村岡・小代それぞれ特色ある魅力です。観光客のターゲットは交通アクセスの観点から西日本、関西圏を中心として設定しております。コンテンツ面は、かに料理やスキー場等、従来の観光資源に加え、

キャンプ場、RVパーク、トレイルランニング、山陰海岸ジオパーク遊覧等の体験型観光にも広く観光コンテンツの充実を図っております。また、より選ばれる町になる為の取組を観光連絡協議会や事業者等と連携し、町として助力してまいります。





スキーは本町の地場産業



空き校舎の今後について、検討を

スキーは観光、雇用、地域ブランドとして密接に関わる基幹産業の1つである。将来は技術者育成のみならず、スキー



もりうら しげる 森浦 繁 議員

文化そのものを次世代に継承していくことは、地域の持続性に、直結する課題ではないか。
 (1) スキーに対する町としての政策について伺う。①産業振興・地域振興の観点から、町として、スキー体験機会の戦略的な位置づけについて伺う。

②教育と産業政策を横断した支援制度の構築について伺う。
町長 スキー場設備整備支援事業によるグリーンシーズンも含めた年間を通じた安定的なスキー運営支援を行ってきたところです。観光商工課は、町外観光客の誘客とスキー場経営の安定化

支援、生涯学習課は、PTAが小中学校のスキー教室を支援し、地区公民館では地域住民を対象としたスキー教室を開催するほか、生涯学習課職員がコーチとなりスキー出前講座を開設しています。

スキー体験機会の戦略的な位置づけは、スキーを香美町ならではのスポーツとして推奨



廃校施設が増加する中、個々の施設対応だけでなく、町としての基本方針や検討体制を明確にすべきである。また、放置に



いとう あつき 伊藤 敦紀 議員

よる劣化が進む前に、利用や除却の基準を定め、迅速に判断を下すべきと考える。町の見解を問う。
町長 副町長を委員長とする検討委員会で協議し、最終的に町長が決定します。柴山小はこども園へ、他4校は一部を地区公民館へ転用する方向で検討中です。香住区

の施設は2〜3年以内の方向性を示します。
 方向性決定までの間、地域活動等での暫定利用を認めるべきである。考えを問う。
町長 地域活動や避難所機能の維持は重要です。管理責任を明確にした上で、申請に基づき許可を判断します。

廃校利活用の具体的方針を問う 2〜3年以内に方向性を示します





仕事のひとつひとつが、まちの魅力をつくっている



ナガエツルノゲイトウ

町長は「町の事業はすべてシティープロモーションである」と答弁された。
この考え方に立てば、



むらた ゆきのが
村田 行信 議員

移住定住施策の本質を問うー行政の仕事とは
官民連携と長期的取組で進める

職員の日々の業務そのものが町の魅力として外部に伝わることになる。
一方で、施策については指標は示されているものの、何を成果とし、どう評価するのかが分かりにくい。
移住定住施策は町政全体の取組の中で成果につながるものと考えてるが、

その目的と考え方について伺う。
町長 本町の移住定住施策は人口減少に歯止めをかけることを目的とし、人口ビジョンおよび総合計画・総合戦略に基づき取り組んでいます。
また、相談体制については空き家物件の情報提供などにおいて宅建業者

等と連携し行政だけで対応できない部分は民間の力を活用するとともに、移住定住は教育や地域とのつながりを含めた長期的な取組の中で進めていく必要があると認識しています。



先般丹波県民局に訪問した際、PRの中で特定外来生物が2点掲示しておりますから、大変危険では無



やまね のりあき
山根 典明 議員

特定外来生物の対策は
駆除の必要性は感じているが対策は困難

いかと感じる。①ナガエツルノゲイトウ②症状は大繁殖 ②クビアカツヤカミキリ③症状バラ科の樹木内部を食害し木を枯らす。香美町として対策は？
町長 町民課職員が但馬県民局環境課主催の会議に出席した際情報提

供の依頼はありました。現在但馬地域におきましては両生物とも確認されていませんが繁殖能力は想像以上で住民生活に及ぼす影響が大きいことから町広報、町ホームページで周知する準備を進めている所です。町内への侵入を完全に防ぐことは困難な為、早期発見・早期

駆除が最善の対策と考える。
【補足】
ナガエツルノゲイトウは簡単に刈払機で刈ってしまうと枯れないで再生し広範囲に広がる。クビアカツヤカミキリは成虫は5月末〜8月に活動し一度に千個近くの卵を産むので大変危険です。



一般質問



大変助かります



町との“ゆるやかなつながり”見える化

町長は12月議会に町民一人当たり2万円の商品券の追加予算を提案して全会一致で可決。2月13日から商品券を配布を



実施、町民の皆さんから「大変助かる」と喜ぶ声が寄せられている。以下商品券配布について問う。

①商品券の登録店舗数・商品券利用数・換金状況。

②イラン戦争の影響により、長引く物価高騰が予想される。切れ目のない物価高騰対策として、商品券配布事業を制度化す

べきではないか。

町長 私も直接お褒めの言葉をいただいています。

①令和8年2月13日から8月31日までを使用期間として町内の利用登録店でご利用いただいています。3月11日現在の登録店舗総数は224店舗です。商品券使用枚数は

32・8%の利用率です。換金受付は、毎月第2と第4水曜日ですが、担当課に来ていただければ対応します。令和8年9月30日が期限です。

②使用期限終了以降の商品券の制度化については、町単独での同様の物価高騰対策は財政的に大変厳しいものがあります。

週1回の商品券換金を！
担当課に来ていただければ対応します



第三次香美町総合計画における観光交流の推進に関連し、近年注目される「関係人口」の創出・拡大について、国が創設



を進める「ふるさと住民登録制度」は、その可視化や地域活性化に資するものと考えられる。この制度を町としてどのように捉えているのか、また今後の具体的な取組方針について問う。

町長 本制度は、移住には至らないものの継続的に地域と関わる関係

人口を増やし、担い手確保や地域活性化につながる仕組みと認識している。農林水産業の人手不足や空き家管理、災害時支援などへの効果や、移住への段階づくりとしての意義が期待される。一方で、登録数の増加のみでは効果が見えにくく、運用負担の増加も懸念さ

れるため、制度設計を含め今後慎重に検討していきます。

ふるさと住民登録制度に取り組みべき
制度設計を含め今後慎重に検討します



他にもこんな質問もしました

質問議員	質問事項
東垣 典雄	ハラスメント対策を問う。
見塚 修	いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて (Part4) (子どもを育む) 部活動の地域展開について伺う。
藤井 昌彦	福祉施設の人材確保について 電線付近の樹木伐採について 国道482号について
西谷 尚	R8年の観光戦略について問う。
中村 崇志	通学路の除雪体制について問う。 学校の避難訓練が実効性を担保できるものになっているかについて問う。 「しおかぜ香苑」デッキ利用が危険視されていることについて問う。
山本 賢司	世界情勢の認識について問う。 デジタル基盤の拡大は、どのような効果が期待できるか。
森浦 繁	選挙の投票方法について伺う。 スキー教室について伺う。
山根 典明	小学校図書館司書の採用の予定は？
村田 行信	空家特措法に基づく措置の運用実態について 公式ホームページリニューアルの目的および設計思想について
田野 公大	デジタル実装について 戦略的外部人材の活用制度の取り組みについて
谷口 眞治	子育て支援・3つ目のゼロ（無償化）と拡充について問う。 「空の駅」改修と観光振興対策について問う。



※この画像はイメージです

薬の受け取り支援を活用しましょう

香住病院の院外処方箋のFAX送信は、送信機がなくなったことで、もう送信してもらえないと思っていたとの声がある。



わきさか えいさく 議員
脇坂 英作 議員

また、独居の方に限らず、日中の付き添いや受け取り支援が難しく、薬の受け取りが負担となっている事例もある。FAX送信が必要な方に十分周知されていないのではないか。受け取り困難事例や支援の実態を把握しているのか。

病院事業管理者 香住病院では、有料の処方箋FAX送信サービスを実施しており、昨年4月から本年2月までに27件の利用がありました。あわせて、薬剤師が自宅を訪問して服薬支援を行う訪問薬剤管理指導や、通院が困難で訪問診療を受けている方を対象に、薬を

自宅に届けて服薬指導や残薬管理を行う居宅療養管理指導など、受け取りが困難な方への支援も行っております。FAX送信については、周知できていない部分がありますので、今後は分かるようお知らせしてまいります。

受け取り支援策は伝わっているか
分かるようお知らせしてまいります



まず、知ることから始めよう

総務民生常任委員会 委員長 山本 賢司

この委員会は、総務、財政、企画、税務、健康、福祉、町民各課の事務事業、香住病院事業を担当しています。改選後の委員会は、3人の現職を含め、4人の新任議員で構成されていることから、まず、担当課の事務事業や重点を把握すること、各委員の重視していることを共有することから始めました。

1 委員の思い

管外研修、健康ポイント、公共交通、防災PET再成、北但クリーンセンターなど、具体策から、前期の成果と課題は？までさまざまな意見が出ました。

2 国保税率の県下統一

県、国保税統一に向けた取組では、令和12年度に同一保険税とする、令和5年度の税は、41市町中、1人当たり29位、収税率2位、医療費18位、所得税9位などが示されました。

3 香住病院の経営は大丈夫か

令和6年度町立香住病院事業企業特別会計決算の審査では、赤字が7900万円と膨らんでいるが、経営は大丈夫なのかと問われて、「資金不足にならないように、一般会計から繰り入れてもらっている」との答えがあり、一安心したものであります。

公立病院の経営難に対して、令和8年度診療報酬引き上げを求める意見書について審査しました。報酬を上げることは、患者の負担増になるとして、委員会の一致にならず、見送られました。

4 10年後のまちを描く

令和8年度からの第三次町総合計画、総合戦略で10年後の町の姿を描こうと合同委員会で議論を行いました。

人口ビジョンは、10年後1万2581人を目標としています。自然減と社会減で、毎年400人前後の減少幅を、縮小する目標です。

5 職員の育成・成長へ

町では、十分な職員採用は難しいことから、若手中心にやりがいのある仕事であることを広報しています。

また、新たな人事評価制度で職員の育成・成長をとガイドラインをつくり、令和8年度から実施するとしています。この評価結果は、勤勉手当に反映されるとしています。

6 DX推進計画に遅れる

令和7年度末までとしていたDX(デジタルトランスフォーメーション)は、1年遅れるとしています。全国一斉であることから、メーカー、技術者が足りない、国が制度改革を行うことで、システム変更が必要、とのこと。

システム導入は、国の補助で行うので、進めるべきとしながら、維持管理費が重さむと地方公共団体から声が上がっています。



5/15	協議	・正副委員長の決定について ・議会運営委員会委員の決定について ・広報公聴常任委員会委員の決定について
6/12	協議 説明	・令和7年度活動計画について ・公立香住病院事業企業会計決算審査について ・国保会計の県下統一のロードマップについて【健康課】
7/22	審査 調査	・令和6年度歳入歳出決算審査(香美町公立香住病院事業企業会計) ・所管事務調査【公立香住病院】
8/4	調査	・所管事務調査【総務課】【企画課】【健康課】【福祉課】
9/3	調査	・所管事務調査【町民課】【防災安全課】
9/16	協議	・「診療報酬の大幅な引き上げを求める意見書(案)」 ・活動計画について(管外視察研修について)

9/18	協議	・意見書(案)について ・視察研修について
9/30	協議	・視察研修について
10/8	調査	・香美町総合計画(案)について【企画課】(合同委員会)
11/4	調査	・過疎地域持続的発展計画(案)について【企画課】(合同委員会)
11/13	視察	・防災拠点としての公共施設の役割(倉吉市)
12/8	協議	・視察研修のまとめについて
3/3	調査 協議 施設見学	・香美町人材育成基本方針について【総務課】 ・香美町DX推進計画について【企画課】 ・委員会活動報告について ・香美町地域防災拠点「防災センター」 ・公立香住病院 東館

小学校・幼稚園の再編が教育・地域の未来につながるために

産業建設文教常任委員会 委員長 松岡 大悟

令和7年度は、議会改選により新たな委員構成で委員会活動を行いました。

国内情勢をみると、長年続いたデフレ経済からの脱却の一步と言われながらも地方の経済状況は、物価高騰や人材不足等課題も多く、4期目浜上町政の先を見据えた施策に期待が寄せられた1年でした。当委員会では、以下の活動を行いました。

◆所管事務調査

所管課に関する施策内容や進捗状況の調査、計画策定に係る計画書の確認等を行いました。また、当委員会に付託された請願審査や企業会計決算審査（上下水道事業・国民宿舎事業）も行いました。

や観光施設として、先進的に運営されている事例を学ぶため「準LAB.」と「牛窓テレモーク」に足を運び視察研修を行いました。

◆管外視察研修

小学校等の再編が進む香美町において、廃校の利活用は喫緊の課題である。

官民連携スキームにより、廃校を住民の拠り所



この視察研修を踏まえ、12月議会最終日に、町長・副町長・関係課長

両施設に共通していたのは、行政＋民間運営事業者＋外部サポート事業者＋金融機関の4者それぞれの役割が協働していたこと、地元民間プレイヤーを行政がバックアップして施設整備や運営を行っていたこと等、今後の香美町の廃校利活用に参考になる事例でした。

◆その他

10月には、香美町子午品評会に委員全員で出席、所管課委員長として、11月には、東京で開催された「山陰近畿自動車道整備推進決起大会」3月には「柴山小学校・柴山幼稚園」「長井小学校・長井幼稚園」「余部小学校・御崎分校・余部幼稚園」閉校式並びに閉園式に出席しました。

らに報告すると共に、先進事例から学ぶことも多いが、時には前例のない新しい形を見出して覚悟を決めてチャレンジすることも重要。時間をかけてでもしっかりと構想段階から計画を立て、一つづつ形にしていく必要がある。と提言しました。

5/15	協議	・正副委員長の決定 ・議会運営委員会委員の決定 ・広報公聴常任委員会委員の決定
6/11	審査 協議	・請願審査「子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について」 ・活動計画について ・企業会計決算審査について
7/24	審査 協議	・令和6年度歳入歳出決算審査（香美町国民宿舎事業、水道事業、下水道事業） ・決算審査採決 ・令和7年度活動計画 ・視察報告会を視野にした視察計画
8/20	調査	・所管事務調査【農林水産課】【観光商工課】【建設課】
9/4	調査 協議	・所管事務調査【教育総務課】【こども教育課】【生涯学習課】 ・視察研修について
9/12	報告	・視察研修について

9/12	協議	・ふるさと納税返礼品の出品事業者対応について【観光商工課】
10/1	協議	・今後の委員会活動について ・視察研修について
10/8	調査	・香美町総合計画(案)について【企画課】(合同委員会)
10/23 10/24	視察 研修	・公共施設の利活用に関する取り組みについて (1)準LAB. 旧準小学校(八頭町) (2)牛窓テレモーク 旧牛窓診療所(瀬戸内市)
11/4	調査	・過疎地域持続的発展計画(案)について【企画課】(合同委員会)
11/28	調査	・視察研修のまとめについて
12/9	協議	・視察研修のまとめについて
2/3	協議	・「委員会活動の在り方」について ・今後の委員会予定について
3/4	調査 協議	・水道事業、下水道事業の経営戦略について【上下水道課】 ・委員会活動報告について

この人ここにあり

「道の駅あゆの里矢田川」駅長

阿瀬 大典さん
あせ だいすけ

今回「道の駅あゆの里矢田川」の駅長阿瀬大典（あせ だいすけ）さんに話を伺いました。今から20年前、香美町の合併当時にお父さんのふるさとである香美町村岡区味取に移住し、観光協会等で勤務した後、縁あってあゆの里矢田川の7代目駅長に任命され、今年で8年目になります。



駅長の阿瀬 大典さん

- ◆「あゆの里矢田川」PR
- ①RVパーク
(車中泊の聖地)
- ②キャンプ500円で泊
まれます。
- ③シャワー(500円)
- ④トイレ(猫写真貼り付
け)注意喚起)
- ⑤静かに眠れます。

(エンジンを掛けて寝るの
を断っている。)

⑥鮎の塩焼き、矢田川味
噌、地元野菜の直売

RVパークの設置に向
けて、資金集めのためク
ラウドファンディングを
実施し、今や「車中泊の

聖地」と言われるまでに
なりました。

お客さんは九州から北
海道まで幅広く、「日本
一ダマな駅長」として産
経新聞・神戸新聞に取り
上げて頂き、全国のユー
チューバーが勝手に取り
上げ、動画再生して頂き
ました。



お土産売り場

手作りシャワー

◆モットーは？

①僕が世話出来ないこ
とはやらない。(敷地内の
草刈りは以前区長会でし
て頂いたが今はこちらで
やっています。)

②掲示物が多すぎると
言われることもあるが今
の時代これくらいが丁度
良い！

③自分が楽しく無けれ
ば意味が無い。

「矢田川通信」発刊

◆議会や行政に望む事

本当によくして頂き満
足しています。希望とし
ては、10年後も設備を維
持出来る様にとあって役
場の方に相談したら予算
が付き、

①壁の隙間のコーキング
工事

②冷凍庫の設置

③湯煎機(そばを湯がく
為)の買い換えなど

本当に御礼を言いたい
です。

◆今後の目標は？

1999年4月に建物
が出来て27年目。まだま
だ直さないといけない所
も出てくると思いますが
今後とも宜しくお願い
いたします。

地元へ寄り添い地元
に評価してもらえよう
にしていきたいです。

駅長として段々板につ
いてきたかなと思ってい
ます。



矢田川通信などのチラシ

◆阿瀬さん自身が28歳
まで姫路で育ち、都会暮らし
から敢えて田舎暮らし
を求めて移住し思うこと
は？

「都会と同じサービスを
求める必要はない。」

どこまでも自然体な駅
長でした。



編集後記

本号は、「より読みやす
く、より伝わりやすく、
関心を持っていただける
紙面」を目指し、レイアウ
トや構成の見直しに取り
組みました。

限られた紙面の中で、
議会の活動や町の動きを
分かりやすくお届けする
ことは容易ではありませ
んが、これまで以上に身
近に感じていただけるよ
う工夫を重ねておりま
す。

「これからも、「読んでみ
よう」と思っていただけ
る議会だよりを目指し、
内容の充実と分かりやす
さの向上に努めてまいり
ます。ぜひご意見ご感想
をお寄せください。皆さ
まの声が、より良い紙面
づくりの力となります。

広報公聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 山根 典明 |
| 副委員長 | 伊藤 敦紀 |
| 委員 | 村田 行信 |
| | 中村 崇志 |
| | 脇坂 英作 |
| | 東垣 典雄 |
| | 藤井 昌彦 |